



いわき平ロータリークラブ週報

創立 1953.6.18

承認 1953.6.29

<http://iwakitaira-rc.jp/>

■事務局 / 福島県いわき市平字白銀町 4-13 不二屋第二ビル2F

(0246) 25-3000

■例会場 / いわきワシントンホテル椿山荘

(0246) 35-3000

■例会日 / 毎週木曜日 p.m.12:30 ~ 13:30

会長：三瓶 和秀 幹事：鈴木 弘康 発行：会報・広報委員会

第 3035 例会 (18号) 2016 年 11 月 24 日 (木) 雨

外部卓話 SPEECH

仙台俘虜収容所第1分所 (湯本) と第2分所 (好間)



NPO法人常磐炭田史研究会

会長 野木 和 夫 氏

戦時中、炭鉱に青い目の収容所があったのですが、ご存知でしょうか。いわきから炭鉱がなくなって40年がたちますので、この機会に話をさせ

てもらいます。

資料の写真は、仙台俘虜収容所第1分所(常磐炭礦・鹿島礦)の航空写真です。長屋は5棟あり、捕虜用は3棟で国籍別に分かれており1棟に8~10室、1室に12~17人を収容していました。戦時中の労働力不足に対応するため、国は朝鮮人や外国人捕虜を労役に就かせました。常磐炭礦と古河好間炭礦も石炭増産命令に従い、そのため湯本と好間には外国人捕虜収容所があったのです。

終戦時、水野谷の仙台俘虜収容所第1分所には567人(イギリス232、カナダ198、オランダ135、アメリカ2)が収容されていました。収容中の死者は32人。同じく上好間の第2分所には246人(イギリス101、ポルトガル67、カナダ46、アメリカ17、その他15)。死者は8人いました。

捕虜の生活は、古い倉庫や従業員宿舎など既存の施設を改造した建物で劣悪な状況でした。宿舎内は通路を挟んで蚕棚式のベッドが並んでいる場合やゴザか畳を敷いて床の上に寝る状態。寝具は毛布が支給されたが暖房は十分ではなく、寒さが身にこたえたようです。

食事は茶碗一杯の米飯、味噌汁、漬物という日本式が基本で、月に何回かは肉や魚が出ることもあったが、食料事情が深刻になるにつれ姿を消しました。飢えた捕虜が野生のヘビ、カメ、カエルを捕らえて食料にしていたという証言もあります。娯楽は、さ

ほど制限がなく、宗教の自由もあって、クリスマスは結構、にぎやかに祝っていましたが、労働は1日8時間、週1回の休みが基本になっていましたが、実際は、はるかに超える労働を強いられました。

終戦を迎え、立場が逆転しました。戦犯裁判の横浜裁判(国内収容所関係)で起訴されたのは全国で222件、475人になりました。うち死刑は28人で、炭鉱関係では三井鉱山三池鉱業所で2人、福岡俘虜収容所で1人。これは劣悪な待遇で捕虜を死亡させた責任を問われたものです。いわきの2カ所でも戦犯になって調べられた人がいたようです。

日本の敗戦と同時に米軍は捕虜の救援のため、収容所に向けて救援物資をパラシュートを使いB29から投下しました。目撃者の証言ではドラム缶が主で、落下速度が速いため中の食糧は地上にぶつかり原型をとどめていないものが多かったようです。生きていた豚を落下傘2~3個をつけ地上にふわりと落としたこともあったという証言もあります。

このパラシュートの生地はシルクで、落下後は旧捕虜が、物資のない時代だから炭鉱や収容所関係者に配給したらしく、聞いた話では戦争中に捕虜を人間らしく扱った人、きつかった人で差があったそうです。急に炭鉱の女性が五色のワンピースを着て、その辺りを歩いているから鹿島も別世界のように話していました。ロータリーの皆さんのように博愛の精神を持った人は、きっといいことがあったのでしょね。

昭和20年9月4日、米軍機が古河好間炭鉱の捕虜収容所に物資を投下しようとして、立ち込めた霧のため収容所を見つけれず、引き返す際に操縦を誤り、湯の岳中腹に激突、爆発して搭乗員15人が全員死亡する悲惨な事故がありました。昭和24年12月20日、内郷町によって建てられた「米機遭難追悼碑」は現場近くの森の斜面にある巨大な自然石の上に今もあります。私個人としては毎年9月4日に慰霊碑を訪れ、せっかく戦争を生き延びたのに戦後すぐ異国で散った15人を慰霊したいと思い、今回のように機会あるごとに話をしています。やがて慰霊登山が恒例行事となって、地域おこしや日米友好の一助になればと望んでいます。



2016~2017年度
国際ロータリーのテーマ

「人類に奉仕するロータリー」

Rotary Serving Humanity

「出席はロータリアンの3大義務の1つです」

司会：鈴木弘康幹事

〔点鐘・ロータリーソング(我等の生業)・
四つのテスト(黒須幸雄会員)〕



黒須幸雄会員

◆来賓・来訪ロータリアンの紹介

○卓話をお願いした常磐炭田史研究会会長
野木和夫様

★結婚祝



山崎 慶一さん
(11月24日)



菊田 政寛さん
(11月29日)



安武 誠司さん
(11月30日)

★誕生祝



清水 和政さん
(11月29日)

ハッピーバースデーソング斉唱

◆会長挨拶ならびに報告



本日は、お寒うございますという挨拶がふさわしいかもしれません。それほど冷え込んでいます。また、大変お見苦しい姿を皆様にお見せして申し訳ありません。

実は日曜日に家を出ようとして、スロープで足を滑らせ、そのまま膝をつき、ポキッと音がして、しばらく動けなくなりました。これは骨折したかなと、日曜日なので休日当番医を探したところ、外科は午前中で終わっていました。翌日、外科に行くと重い捻挫ということでした。

絶対、安静と診断されましたが、翌朝は皆さん、ご存知の通り大きな地震がありました。まったく動けず、このまま火事でも起きたらどうなるのだろうと、身障者の皆さんの気持ちが分かるような気がしました。さらに、かみさんには「あんた、何で外へ逃げないの」と状態を忘れられている始末でした。

東日本大震災の時、耳が聞こえない方や体が不自由な方がかなり犠牲になったと聞いています。自分

で、そういう立場になって分かるのだなと思いました。これから先、自分も体がどんどん弱っていきますので、体が不自由な人に優しい街づくりを考えさせられます。きょうも、みずほ銀行へ行った際、手すりが両方に付いていたのは助かりました。

きょうのように寒くなって足を滑らせる方がいらっしゃるかと思いますので、十分注意されますよう、余計なお世話ですが、お話しさせていただきました。

◆幹事報告

- いわき桜RCより会報が届きました。
- 米山記念奨学生のミャンマーのソータイさんより地震御見舞のメールが届きました。

委員会報告

◆出席委員会(池田直彦副委員長)

例会日	基本会員数	出席者	メークアップ数
11月24日	52名	25名	—

◆ロータリー財団委員会(平戸康明副委員長)

大久保健蔵さん、鈴木弘康さん、阿部弘行さん。
以上3件

◆米山記念奨学会委員会(代理・平戸康明会員)

阿部弘行さん、大久保健蔵さん。
以上2件

◆スマイルボックス委員会(代理・大久保健蔵会長エレクト)

♥三瓶和秀さん(野木さん卓話よろしくお願ひします) ♥清水和政さん(誕生祝) ♥山崎慶一さん(結婚記念祝ありがとうございます) ♥菊田政寛さん(結婚祝ありがとうございます) ♥平戸康明さん(欠席が続きます申し訳ありません) ♥有賀行秀さん(早退します。申し訳ありません) ♥大久保健蔵さん(野木さん卓話よろしくお願ひいたします) ♥関口武司さん(野木さん卓話宜しくお願ひします) ♥越智正典さん(野木さんようこそ。卓話よろしくお願ひいたします) ♥高橋康二さん(野木さん卓話よろしくお願ひします) ♥鈴木弘康さん(野木和夫様、雪の中足をお運びいただきありがとうございます。本日は卓話宜しく御願ひ致します) 以上11件

★本日の例会案内 12月1日(木) 12:30～
年次総会

お食事メニュー＝海鮮ちらし寿司、稲庭風うどん

★次回の例会案内 12月8日(木) 12:30～

米山記念奨学会担当卓話 松崎浩委員長

お食事メニュー＝チキンソテー温野菜添え、魚介のエスカベッシュ